

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 106

1. 施設名	特別養護老人ホーム 美咲ヶ丘		
2. 住所	〒	803-0186	
	小倉南区大字新道寺1085-1		
	TEL	093-453-1222	
	FAX	093-453-1132	
3. 地区	小倉南区	大字新道寺	
4. 入所相談対応者	公開	①氏名	古畑 京子
		①職種	介護支援専門員
		②氏名	谷脇 誠
		②職種	生活相談員
5. 施設種別	特別養護老人ホーム（地域密着型含む）		
	【補足】『その他』（詳細）	—	
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型		
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり
		②ベッド数	2床
7. ショートステイ	あり	【補足】	—
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している		
	①常 勤	4人	
	②非常勤	人	
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	オンコールで対応	
		【補足】	
		①『オンコール対応』時間	19：30～07：00
		②『その他』（詳細）	—
9. 施設の入所基準 ～介護度～	×	自立 ⇒ 【補足】	— (年齢)
	×	要支援 1	
	×	要支援 2	
	×	要介護 1	
	×	要介護 2	
	○	要介護 3	
	○	要介護 4	
	○	要介護 5	



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 美咲ヶ丘		
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ○	
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	公開	受入の可否	
		○	生活保護
		×	身元保証人がいない
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について		
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時
	○	○	経管栄養（胃瘻・腸瘻）
	×	×	経管栄養（経鼻）
	×	×	ＣＶポート
	×	×	中心静脈栄養
	○	○	血糖・インスリン注射
	×	×	点滴静脈輸液
	○	○	褥瘡処置
	○	○	膀胱留置カテーテル
	○	○	膀胱瘻
	○	○	導尿（自己のみ）
	×	×	気管切開
	×	×	人工呼吸器
	○	○	酸素吸入
	○	×	腎瘻
	○	○	浣腸・摘便
	○	○	ストーマ（消化器・尿路）
	×	×	血液透析
	×	×	腹膜透析
	○	○	感染症（MRSA・疥癬他）
	○	○	神経難病
	○	×	喀痰吸引
	—		○ 喀痰吸引（夜間）
	—		○ 喀痰吸引（昼間）
	○	終末期	
	—		×
	—		×
	—		○
	—		麻薬を用いた疼痛管理
	—		施設にて看取り（10-4.実績数）
	—		状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 美咲ヶ丘				
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 0 件			
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など				
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①種類	—	
			②人数	—	
12. 食 事	対応の可否など				
	食形態	×	ソフト		
		○	ミキサー		
		○	とろみ		
		×	ムース		
		○	きざみ		
	治療食	×	分割食		
		○	肝臓食		
		○	腎臓食		
		○	糖尿病	⇒【補足】(詳細)	1200kcal
		○	塩分制限	⇒【補足】(詳細)	6グラム
	—	○	アレルギー除去食		
		○	嗜好による個別対応		
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定している		
		リハビリ 職員数	P T	—	
			O T	—	
			S T	—	
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴			
	○	機械浴	⇒【補足】	車いす	○
				ストレッチャー	○
				リフト	×



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	特別養護老人ホーム 美咲ヶ丘		
15. 透析患者の 受診送迎	公開	対応していない	
		【補足】	— に対応
		—	
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？	
		利用者の状況等に応じてケースバイケースで対応する	
17. 施設の特徴	常勤職員の約9割が国家資格を有し、『第一級の介護と第一級のサービスで利用者第一主義に徹しよう』をスローガンに掲げ、個別サービスに取り組んでいます。また、最大の楽しみの1つである「食」はおもてなしの心を第一に地産地消を実践、手作りにこだわった食事を提供しています。		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。